もっと早く知りたかった

コピーライティングの心技体

本書の内容を知らなければ
文章術をいくら学んでも
AIに文章を書かせても…
人を動かす文章は書けない

宮本真愿

三位一体で文章に「魂」が宿る

- 心：哲学・生き様
- 技：文章術・AI活用
- 体：３つの土台

文章で
人を動かす
メソッドの
決定版！

はじめに

AI時代に、なぜ文章制作に悩むのか？

２１世紀に入ってからの人類の進歩は
まさに目を見張るものがあります。

とりわけここ数年での AI（人工知能） の進化は
私たちの生活・仕事・そして「言葉」にまで
革命をもたらしました。

ChatGPTをはじめとする生成AIは
わずか数秒で驚くほど整った文章を生み出してくれます。

商品説明、プロフィール、セールスコピー、SNS投稿…

これまで「文章に時間をかけていた領域」が
誰でもボタン一つで完成する。

そんな夢のような時代がやってきたのです。

多くの人がこう思いました。

「これで文章に悩む時代は終わった」と。

しかし現実は、どうでしょうか？

AIを活用して文章をつくっても…

✔ 読まれない
✔ 心に響かない
✔ 行動につながらない

そんな悩みを抱える人が、逆に急増しています。

AIの文章は「きれい」だけれど、人の心は「動かない」

なぜでしょうか？

なぜ、AIが生み出す滑らかで整った文章が
読者の心を動かさないのか？

それは、文章がどれほど「美しい言葉の並び」であっても
そこに 魂＝心 が欠けているからです。

AIの文章は、過去の膨大なデータから
最適な言葉を選び出し、整然と並べてくれます。
けれども、それは「生きた言葉」ではなく
あくまで「情報としての言葉」にすぎません。

人が本当に動くのは
情報ではなく「感情」によってです。

そして感情を動かすのは、データの集積ではなく
書き手自身の哲学・ポリシー・世界観・生き方…

つまり「心」なのです。

技（スキル）だけに走る落とし穴

もう一つの問題があります。

それは…

多くの人が「文章がうまくなれば売れる」と信じて
ひたすら「技」（スキル）ばかりを追い求めてしまうことです。

確かに、コピーライティングのテクニックやAIの活用術を知れば
読みやすい文章やキャッチーなフレーズは書けるようになります。

けれども、それだけでは読者の心を揺さぶり
行動へと導く力 にはならない。

たとえるなら、それは剣術だけを磨いた侍が
心（武士道）や体（鍛錬）を欠いたまま戦に挑むようなものです。

刀の振りは鋭くとも、覚悟も軸もない侍は
一瞬で倒れてしまうでしょう。

コピーライティングの世界もまったく同じ。

「心・技・体」の三位一体が揃ってはじめて
人を動かす文章は生まれるのです。

あなたも、こんな悩みを抱えていませんか？

・AIで文章を生成してみたけれど、どこか「薄っぺらく」感じる
・頑張って書いても、誰も反応してくれない
・「技」を学んだのに、結果が出ずに焦っている
・「自分の言葉」に自信が持てない

もし一つでも当てはまるなら、あなたの文章に
「心」か「体」が欠けている可能性があります。

この二つを補わない限り
いくらAIやスキルを学んでも
結果は変わりません。

新時代の問いかけ

AI時代における最大の問いかけは、こうです。

「あなたの言葉に、あなた自身の生き様は宿っているか？」

テクニックやAIが進化すればするほど
逆に試されるのは「人間そのもの」です。

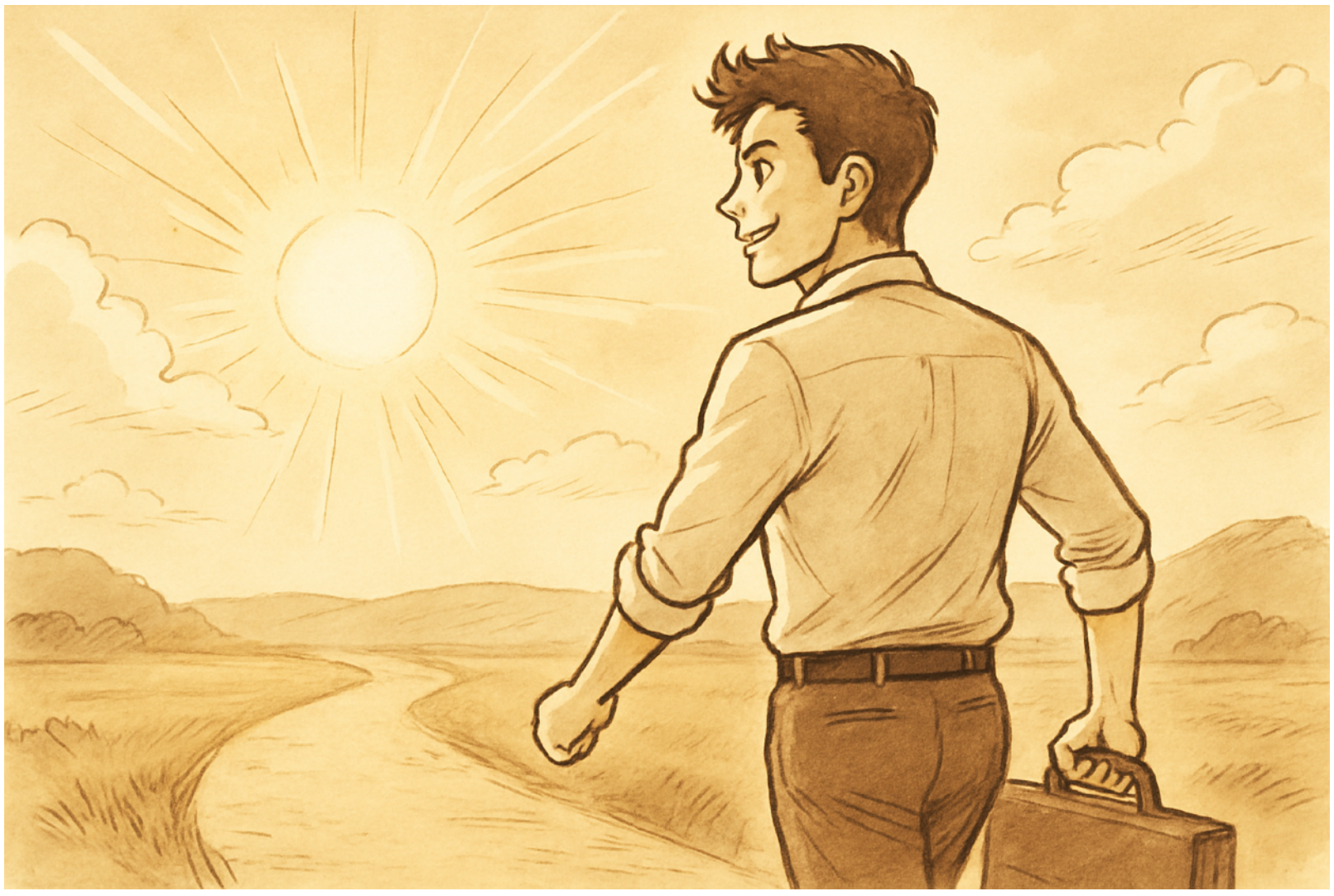
どんなに優秀なAIが登場しても
あなたの人生経験、哲学、覚悟を
代わりに語ることはできません。

だからこそ今、私たちは立ち止まり
考えなければならないのです。

AI時代において、本当に人を動かす文章とは何か？

このレポートでは、その答えを「心・技・体」
という切り口で徹底的に解き明かしていきます。

影武者コピーライター
宮本真愿



AIが言葉を整え、心が言葉を生かす

時代が進化しても、人を動かすのは「生きた言葉」だけ

本書目次

はじめに

・AI時代に、なぜ文章制作に悩むのか？
・AIの文章は「きれい」だけれど、人の心は「動かない」
・技（スキル）だけに走る落とし穴
・あなたも、こんな悩みを抱えていませんか？
・新時代の問いかけ

第１章：スポーツ、武道に学ぶ「心・技・体」の真実

・心技体とは？
・なぜ「心・技・体」なのか？
・コピーライティングも同じ構造を持つ
・スポーツの事例に学ぶ
・３つが欠けた状態を想像してみると…
・凡人の文章を、人を動かす力へと変える

第２章：コピーライティングの「心」とは何か？

・心＝「マインド」（Mind）
・心とは何を指すのか？
・心が欠けた文章は、なぜ響かないのか？
・デール・カーネギーに学ぶ「人を動かす哲学」
・宮本真愿の体験｜心なき言葉は、誰にも届かなかった
・心の源泉

第３章：コピーライティングの「技」とは何か？

・技＝「スキル」（Skill）
・① コンテンツライティング（価値提供型）
・② セールスライティング（販売型）

・③ ローンチライティング（プロモーション型）
・技が欠けたときに起こること

第４章：コピーライティングの「体」とは何か？

・体＝「フィジカル」（Physical）
・① テーマ
・② コンセプト
・③ ポジショニング
・体が欠けた文章は、どうなるか？
・成功している発信者は例外なく「体」が強固

第５章：三位一体の力｜心・技・体のバランス

・心技体の「三位一体」
・技と体を磨いても「心」が欠けていれば…
・心と体を磨いても「技」が欠けていれば…
・心と技を磨いても「体」が欠けていれば…
・三位一体が揃ったときに生まれる力
・三位一体を崩さないために

第６章：あなたの文章の「響き」はどこで停滞しているのか？

・多くの人が陥る誤った解釈
・自己診断チェックリスト
・典型的な３つの「止まり方」
・課題を一つでも放置すれば成果は生まれない
・本気で取り組む人と、そうでない人の分岐点

第７章：コピーライティングの「心・技・体」をトータルで身につける

・多くのコピーライティング講座は「技」だけに偏っている
・心の講義：人を動かす哲学
・技の講義：五つ星文章術 × ３種のライティング × AI活用術
・体の講義：テーマ × コンセプト × ポジショニング

・あなたの未来を変える学び

第８章：未来を選ぶのは、あなた自身

・あなたはもう気づいているはず…
・今この瞬間の選択が、未来を決める
・AI時代に問われるのは「人間そのもの」
・その他大勢になるか「選ばれる人」になるか
・行動しない人が必ず後悔する理由
・宮本真愿からのメッセージ

最後に

・行動を起こすのは、今この瞬間
・凡人でも、大逆転は可能
・あなたの挑戦を待っています！

第1章

スポーツ、武道に学ぶ「心・技・体」の真実

心技体とは？

この三文字を、一度は耳にしたことがあるはずです。

それは武道だけでなく、あらゆるスポーツの世界において
普遍的な「成功の原則」として重んじられてきました。

勝負の世界では、ただ体を鍛えるだけでも
技を磨くだけでも、一流にはなれません。

・精神の柱である「心」
・鍛錬によって磨かれる「技」
・そして土台となる「体」

この三つが揃って初めて
真の実力者として戦うことができるのです。

なぜ「心・技・体」なのか？

日本の伝統武道、柔道、剣道、空手道、相撲。

どれを見ても共通しているのは
練習の場において「心・技・体」を
一体として育む姿勢です。

たとえば柔道の稽古。

投げ技や受け身の習得という「技」だけではなく
礼に始まり礼に終わる精神性（心）

そして体幹をつくる地道な体力作り（体）が
全て等しく大切にされます。

もし「技」だけを優先すればどうなるでしょう？

相手に勝つことはできても、慢心し
心が折れたときに簡単に敗れる。

「心」だけを磨き、精神論に偏れば
理想は高くても現実には勝てない。

「体」だけを鍛えれば、一時的には強靭でも
技も心も伴わず勝負どころで力を出し切れない。

三位一体であって初めて
武道は完成するのです。

コピーライティングも同じ構造を持つ

では、コピーライティングの世界はどうでしょうか？

多くの人がまず学ぶのは「技」です。

セールスコピーの型や、心理学的テクニック
あるいはAIを駆使した文章生成。

確かにそれらは文章を「うまく」見せてくれます。

しかし・・・もしそこに「心」がなければ？

書き手の哲学、生き様、信念が滲み出なければ？

その文章は、たとえ見た目が整っていても
人を動かす力を持ちません。

あるいは「心」と「技」が揃っていたとしても
「体」が欠けていればどうなるか。

つまり、テーマ・コンセプト・ポジショニング
という「土台」が定まっていない文章は
矢のように放たれても、狙うべき的が存在しない。

方向性を失い、結局は届かないのです。

スポーツの事例に学ぶ

一流アスリートの言葉を借りましょう。

イチロー選手は現役時代
技術練習と同じくらい「体のメンテナンス」
と「心の整え方」を重視していました。

毎日の食事から睡眠、ウォーミングアップに至るまで
徹底したルーティンを守り抜いたのは
まさに「体」を整えるため。

そして、膨大な打撃練習を積みながらも
「心が乱れればバッティングは崩れる」と語っています。

つまり、世界のトップに立つ人でさえ
「技」だけでは勝負できないことを知っているのです。

では我々コピーライターはどうでしょう？

読者に響く文章を書くには
同じく「心・技・体」を揃える以外に道はありません。

３つが欠けた状態を想像してみると…

◆「心」が欠けた文章

→　冷たく、どこか無機質。
人の感情を揺さぶれない。

◆「技」が欠けた文章

→　熱量はあるが、読みづらく
伝わらず、誤解を招く。

◆「体」が欠けた文章

→　言葉は整い、信念もあるが
誰に向けて書いているのか分からず、届かない。

どれも「あと一歩」のところで失敗する。

武道の試合で、最後の一瞬に崩れ落ちるように。

だからこそ、コピーライティングにおいても
「心・技・体」が不可欠なのです。

凡人の文章を、人を動かす力へと変える

・技ばかりを学んで、心や体を置き去りにしていないか？
・心の熱量はあるのに、技を磨くことを怠っていないか？
・技と心を磨いたのに、テーマやポジショニングという土台を軽んじていないか？

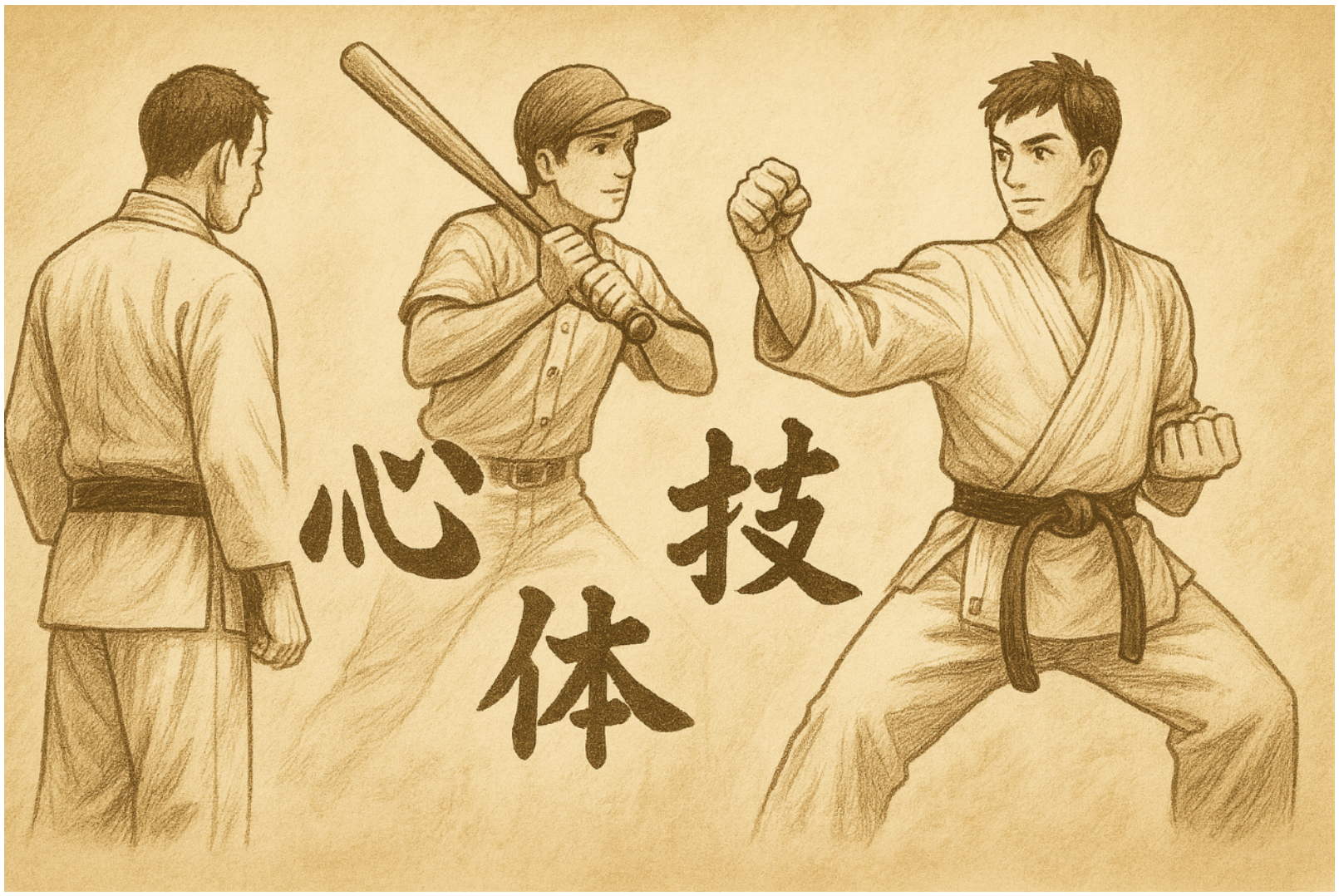
もし一つでも当てはまるなら
あなたの成長はここで止まっています。

そしてその壁を破る鍵が、この「心・技・体」を
三位一体で習得することなのです。

武道の師範が弟子に伝えるように
コピーライティングの真実もまた
「心・技・体」に集約されます。

どれか一つを極めるのではなく
三つを同時に磨き続けること。

それが「凡人の文章を、人を動かす力へと変える」
唯一の道なのです。



心なくして技は輝かず、体なくして心は届かない

三位一体になってこそ、人を動かす文章は生まれる

第２章

コピーライティングの「心」とは何か？

心＝「マインド」（Mind）

文章を書くとき、多くの人はまず
「技」に目を向けます。

キャッチコピーの型や
行動を促す心理トリガー
ストーリーテリングのコツ
などなど…

確かにそれらは必要不可欠です。

しかし、いくら技術を学び
流れるような美しい文章を書いたとしても
そこに「心」が宿っていなければ
人は動きません。

「心」とは何を指すのか？

ここでいう「心」とは
単なる「気持ち」や「情熱」ではありません。

それは、哲学・ポリシー・思想、価値観、生き様
そして「どんな世界観を持って言葉を紡ぐのか」
という、人としての「在り方」そのものです。

あなたの文章には、あなた自身の人生が
反映されているでしょうか？

言葉の一つひとつに、あなたの信じる価値観
守りたいもの、大切にしている信念が滲んでいるでしょうか？

つまり「心」とは、文章の根っこであり
魂のことなのです。

「心」が欠けた文章は、なぜ響かないのか？

AIが生成した文章を読んでみると分かります。

整っている、分かりやすい、きれい。

でも…、なぜか心に残らない。

それは、そこに「誰かの人生」が存在していないからです。

読者は無意識のうちに
言葉の背後にある「人間性」を読み取ります。

・この人は本当に自分の痛みを理解してくれているのか？
・この人の言葉には血が通っているのか？
・ただ売りたいだけなのか？
・それとも本気で自分の未来を変えようとしてくれているのか？

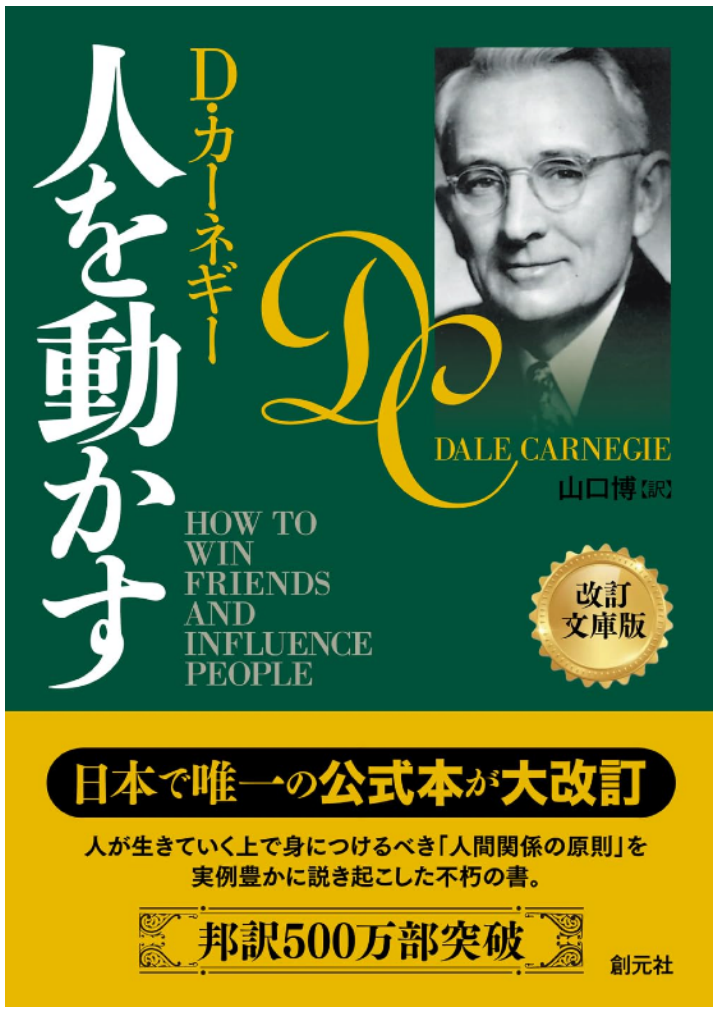
読者が求めているのは、情報ではありません。

「あなたの生き様から生まれた言葉」こそが
読者の心を震わせるのです。

デール・カーネギーに学ぶ「人を動かす哲学」

ここで、僕の師でもある
デール・カーネギーの教えを紹介します。

カーネギーの名著『人を動かす』は
８０年以上にわたって世界中で読み継がれています。



その理由は、単にコミュニケーションのテクニックを
並べているからではありません。

彼の言葉の一つひとつに、 人を尊重し
人間を愛する姿勢 が込められているからです。

「心から相手に関心を持ちなさい」
「まず相手の立場に立ちなさい」

これは小手先の技ではなく
カーネギー自身の生き方そのものなのです。

だからこそ、彼の本を開くたびに
私たちの胸は熱くなり
行動せずにはいられなくなるのです。

宮本真愿の体験｜心なき言葉は、誰にも届かなかった

僕自身も、かつて「心」を欠いた文章を
書いていた時期がありました。

会社を経営していた頃、売上を伸ばすために
「売れるコピーのテクニック」ばかりを追い求めていたのです。

たしかに、その文章は一時的に売上を作ってくれました。

しかしそこに「人を救いたい」という信念はなかった。

だから、顧客は一度買っても
二度と戻ってきませんでした。

結果、事業は崩壊し、倒産、離婚、一家離散
ホームレスへの転落へと・・・

僕自身、人生のどん底を味わいました。

その後、ホームレス生活の中で気づいたのです。

「自分の言葉には心がなかった」ことに…

そこから僕は「心」を取り戻しました。

自分の痛みや失敗を隠さずに語ること。

本気で読者の人生を変えたいと思って言葉を書くこと。

その覚悟ができてから、文章は初めて
「人を動かす力」を持ち始めたのです。

「心」の源泉

ここで大切なことをお伝えします。

「心」は特別な才能を持った人だけのものではありません。

あなたがこれまで生きてきた人生の中にこそ
「心」の源泉があります。

・苦しかった経験
・失敗から得た学び
・誰かに救われた瞬間
・大切にしている価値観

これらを言葉に込めることで、あなたの文章は
「技術以上の力」を持つようになります。

だから恐れずに、あなた自身の人生を
さらけ出してください。

それこそが「心」を文章に宿す方法なのです。

コピーライティングにおける「心」とは
単なる感情ではなく、あなたの哲学・ポリシー
思想、価値観、世界観など、生き様そのもの。

どんなに技術を磨いても
心が欠ければ文章は冷たく
誰の胸にも響かない。

逆に、心を込めた言葉は
多少ぎこちなくても必ず届き
必ず人の心を動かす。

だからこそ、コピーライターとして、発信者として
まず磨くべきは「心」なのです。



心なき言葉に、人は動かない

あなたの生き様こそが、最大のコピーライティング資源だ

第３章

コピーライティングの「技」とは何か？

技＝「スキル」（Skill）

「心」がコピーライティングの魂であるならば
「技」はその魂を形にして伝える 武器 です。

どれだけ強い信念を持っていても
それを的確に表現する「技術」がなければ
相手には届きません。

まるで、真剣な想いを胸に秘めながらも
言葉に詰まってしまう演説者のように。

逆に「技」だけを追い求めると
小手先のテクニックに堕してしまいます。

だからこそ「心」を基盤にした上で
「技」を磨くことが不可欠なのです。

では、その「技」とは具体的に何を指すのか？

ここで僕が提唱しているのが
五つ星文章術の３本柱です。

① コンテンツライティング（価値提供型）

コンテンツライティングとは
読者に価値を届ける文章 のことです。

note、ブログ記事、メルマガ、SNS投稿など

これらはすべて「価値を与えること」が目的であり
読者に「気づき」や「学び」を提供することが最優先になります。

読者に「役立った」「面白かった」「心が動いた」
と感じてもらえる文章。

これが積み重なることで、信頼や共感が生まれます。

コンテンツライティングの本質は「Giveの精神」

売るための文章ではなく、まず与えること。

その積み重ねが、あなたのブランドを形づくり
読者を惹きつけ続けるのです。

② セールスライティング（販売型）

セールスライティングは
価値を「行動」へと変換する文章術です。

ここでは明確に…

「商品を買ってもらう」
「サービスを申し込んでもらう」

という目的が存在します。

セールスライティングには
心理学や行動経済学に基づいた
数多くのフレームワークがあります。

「PESONAの法則」
「ベネフィット訴求」
「ストーリーテリングによる共感」

など、技の宝庫です。

しかし、ただテクニックをなぞるだけでは人は動きません。

大切なのは、相手の「痛み」を理解し
それを解決する道を示すこと。

セールスライティングとは
「売り込み」ではなく「救済」

相手の未来を変える一歩を踏み出させるための
力強い後押しなのです。

③ ローンチライティング（プロモーション型）

ローンチライティングとは
人を巻き込み、流れを生み出す文章術 です。

キャンペーンや商品発表
プロモーション全体を設計するときに必要になります。

・ステップメールで期待感を高める
・ストーリーを通じて共感の渦をつくる
・限定性や希少性を提示して行動を促す

ここでは単発の文章ではなく
「全体の設計図」としての技術 が求められます。

まるでオーケストラの指揮者のように
複数のメッセージを組み合わせ
クライマックスへと導くのです。

ローンチライティングは
コピーライターとしての「総合力」が試される領域。

ここをマスターすれば、あなたの言葉は
「群衆を動かす力」へと進化します。

「技」が欠けたときに起こること

想像してみてください。

心に熱い想いがあっても
それを伝える「技」がなければどうなるか？

・言葉がまとまらず、相手に届かない
・読みにくく、最後まで読んでもらえない
・行動を促す力が弱く、成果につながらない

「心」があっても、「技」がなければ
想いは空回りしてしまうのです。

逆に「技」を磨き抜けば
心の熱量を正しく形に変えることができます。

「心」を武器に変えるのが「技」の役割なのです。

コピーライティングにおける「技」とは
単なる文章のうまさではなく
人を動かすために構築された技術体系です。

・読者に価値を届ける コンテンツライティング
・読者を行動に導く セールスライティング
・群衆を巻き込み流れを生む ローンチライティング

この３本柱を磨き上げることで
あなたの言葉は単なる文章ではなく
「人を変える力」を持つようになる。

そしてその技術は、AIの登場によって
「不要」になるどころか
むしろAIを最大限活用するために
さらに必要不可欠となっているのです。



技は、心を形にし、行動へと変える

価値を与え、行動を促し、流れをつくる
３種類のコピーライティングが人を動かす

第４章

コピーライティングの「体」とは何か？

体＝「フィジカル」（Physical）

コピーライティングの世界で「体」とは
土台＝基礎構造のことです。

どれだけ優れた「心（哲学）」と「技（スキル）」を持っていても
その言葉を支える、テーマ・コンセプト・ポジショニングが
定まっていなければ、文章は迷子になり、成果につながりません。

たとえるなら、強い精神力（心）と高度な剣術（技）を持つ侍が
戦場でどの方向に進めばいいのか分からず
右往左往しているようなものです。

方向性を失った戦いに勝利はない。

文章の世界も同じです。

コピーライティングの「体」を形づくるのは次の３つです。

① テーマ

「あなたは何を語る人なのか？」

この問いに答えられるかどうかが、文章の一貫性を決めます。

テーマとは、人生をかけて取り組む「軸」です。

例えば…

「凡人の凡人による凡人のための成功哲学」
「五つ星文章術」
「１人起業家のための心技体」

こうしたテーマがあるからこそ、発信はブレなくなり
読者に「この人は何者なのか」が伝わります。

② コンセプト

「なぜ、あなたから学ぶ必要があるのか？」

これに答えるのがコンセプトです。

同じテーマを扱う人は世の中にたくさんいます。

その中で「あなたの発信だからこそ読者が惹かれる理由」
を明確にするのがコンセプトの役割です。

例えば…

「コピーライティングを心・技・体で解き明かす唯一のアカデミー」
「凡人が逆転するための実録ベースの成功哲学」
「AI時代に対応した人を動かす文章術」

こうしたユニークな切り口が、読者の心をつかみます。

③ ポジショニング

「あなたはどの立ち位置で勝負するのか？」

これが定まらないと、あなたは
「その他大勢」に埋もれてしまいます。

例えば…

・同じビジネスでも「売上至上主義」か「人間関係重視」かで立ち位置は全く違う。
・ビジネスの成功でも「天才向け」か「凡人向け」かで対象読者が変わる。

ポジショニングとは、 あなたが戦うべき
フィールドを明確にする作業 です。

ここを決めることで、ライバルとの比較がなくなり
あなた独自の市場が生まれるのです。

「体」が欠けた文章は、どうなるか？

❌ **テーマがない文章**

→ 何を伝えたいのか分からず、読者が離れていく。

❌**コンセプトがない文章**

→ 他の発信者との差が見えず、「誰から学んでも同じ」と思われる。

❌**ポジショニングがない文章**

→ 市場の大海に埋もれ、見つけてもらえない。

つまり「体」を欠いた文章は
どれだけ心と技があっても、届かないのです。

成功している発信者は例外なく「体」が強固

SNSやnote、ブログで成功している人を観察すると
必ず「体」がしっかりしています。

・テーマが明確でブレない
・コンセプトが独自で鮮烈
・ポジショニングが的確で「刺さる相手」に届いている

逆に言えば、これらが曖昧な人は
いくら文章が上手でも伸び悩みます。

「体」を鍛えることこそ
発信者が最優先で取り組むべき土台作りなのです。

コピーライティングの「体」とは…

・テーマ
・コンセプト
・ポジショニング

という３つの土台。

これがあるからこそ、あなたの「心」と「技」は
力強く発揮され、言葉は迷わず届く。

・テーマがあるから、発信は揺るがない
・コンセプトがあるから、あなたが選ばれる
・ポジショニングがあるから、必要な人に届く

心・技・体の最後の「体」は
目立たないが最も重要な基礎。

ここを疎かにする限り
文章は決して人を動かす力を持ちません。



体なき言葉は、宙に舞うだけ

テーマ・コンセプト・ポジショニングが、言葉を届ける道をつくる

第５章

三位一体の力

心・技・体のバランス

心技体の「三位一体」

これまで見てきたように、コピーライティングには
「心」「技」「体」という３つの要素が存在します。

どれか一つを極めただけでは不十分であり
３つが揃って初めて「人を動かす文章」となるのです。

では、この三位一体のバランスが欠けたとき
文章はどうなるのでしょうか？

技と体を磨いても「心」が欠けていれば…

文章の型を覚え、テーマやコンセプトも整っている。

それなのに、なぜか人の心に響かない・・・。

そんな文章に共通しているのは「心」が欠けていることです。

そこには「売るためのテクニック」しかなく
書き手の哲学や生き様が見えてこない。

だから読者は冷たさを感じ、信用できず
最終的に行動に至りません。

まるで「完璧な形をした器」なのに
中に何も入っていないようなものです。

心と体を磨いても「技」が欠けていれば…

熱い想いがあり、テーマやポジショニングもはっきりしている。

しかし文章の技術が伴わないと
伝わる前に相手が離れてしまいます。

・言葉がまとまらず、読みにくい
・感情を込めたつもりでも、誤解を生んでしまう
・最後まで読んでもらえない

「心」はあるのに「技」が未熟なせいで
その想いが伝わらない。

これは、素晴らしい音楽を頭の中で奏でているのに
楽器の扱い方が分からず、音がぐちゃぐちゃに
なってしまうようなものです。

心と技を磨いても「体」が欠けていれば…

強い想いがあり、文章のスキルもある。

でも、テーマやコンセプト、ポジショニング
といった「体」が曖昧だとどうなるか？

答えは明白です。

「誰に向けて」
「何のために」

書いているのかが伝わらない。

読者にとっては、ただの「良い話」で終わり
行動や結果にはつながりません。

矢を放っても的がないのと同じです。

三位一体が揃ったときに生まれる力

では、「心」「技」「体」が
すべて揃った文章はどうなるのか？

・「心」があるから、読者の胸を打つ。
・「技」があるから、分かりやすく伝わる。
・「体」があるから、必要な相手に確実に届く。

この３つが三位一体になったとき
言葉は単なる文章ではなく「人を動かす力」へと進化します。

その文章を読んだとき、読者はこう感じるのです。

「まるで自分のために書かれているようだ」と。

そして、心を揺さぶられ
行動を起こさずにはいられなくなる。

これこそがコピーライティングの究極の姿であり
心・技・体のバランスが生み出す奇跡 なのです。

三位一体を崩さないために

ここで大切なのは「どれか一つに偏らないこと」です。

・技術を磨くのも大切
・哲学を深めるのも大切
・テーマを固めるのも大切

しかし、それぞれを「独立したもの」として扱うのではなく
常に三つを「同時に」意識しながら育てていく。

これが、長く結果を出し続けるコピーライティングの条件です。

「心」「技」「体」

この３つは別々のものではなく
補い合い、引き立て合う関係にあります。

・心が技を温め、体に方向性を与える
・技が心を形にし、体を動かす
・体が心と技を支え、力を発揮させる

この三位一体のバランスを手に入れたとき
あなたの言葉は圧倒的な説得力と推進力を持ち
読者の人生を変える文章となるでしょう。



心が魂を与え、技が形をつくり、体が道を示す

心・技・体が三位一体となったとき、文章に絶大な力が宿る

第６章

あなたの文章の「響き」はどこで停滞しているのか？

多くの人が陥る誤った解釈

ここまで「心・技・体」の三位一体が
コピーライティングに不可欠であることを解説してきました。

では、あなたの文章は今どこで止まっているのでしょうか？

成果が出ないとき、多くの人は…

「技が足りないからだ」

と考えます。

たしかに文章のスキルは重要です。

しかし実際には…

心・技・体のどこか１つでも欠けていれば
文章は読者の心を動かさず、行動につながらないのです。

自己診断チェックリスト

ここで、あなたの現状を簡単に診断できる
チェックリストを用意しました。

以下の質問に「YES／NO」で答えてみてください。

① 心（哲学・生き様）

Q：自分の言葉に「人生で学んだ教訓」や「覚悟」が込められているか？
Q：読者の痛みを理解し、寄り添おうとしているか？
Q：売りたい気持ちよりも「役に立ちたい」という思いを優先できているか？

もしここで「NO」が多いなら
あなたの文章は冷たく、機械的に響き
信用を得られない可能性があります。

② 技（スキル・表現力）

Q：読みやすい構成で、最後まで飽きずに読んでもらえるか？
Q：行動を促す言葉（CTA）を、適切なタイミングで提示できているか？
Q：共感→問題提起→解決→行動という流れを意識しているか？

もしここで「NO」が多いなら
あなたの文章は熱量はあるが
伝わらず、もどかしいものになっているでしょう。

③ 体（テーマ・コンセプト・ポジショニング）

Q：あなたの発信テーマは明確か？
Q：読者が「なぜあなたから学ぶべきか」が分かる独自のコンセプトがあるか？
Q：あなたの言葉は「誰に向けて」書かれているのか、はっきりしているか？

もしここで「NO」が多いなら
あなたの文章は良いことを書いているのに
誰の心にも届かないという状態に陥っています。

典型的な３つの「止まり方」

自己診断をしてみて
あなたはどのタイプに近いでしょうか？

① テクニック迷子タイプ（心が欠けている）

→ 型は知っているけれど、心が伴わず、読者に冷たさを与えてしまう。

② 熱血空回りタイプ（技が欠けている）

→ 情熱はあるけれど、言葉の整理ができず、結局相手に伝わらない。

③ 宙ぶらりんタイプ（体が欠けている）

→ 信念もスキルもあるけれど、方向性が曖昧で、必要な相手に届かない。

どれも「あと一歩」で結果につながらない典型例です。

そして、この壁を破るには「心・技・体」の
バランスを揃える以外に道はありません。

課題を一つでも放置すれば成果は生まれない

ここで強調したいのは、 たった一つの欠落でも
致命的になる ということです。

「心」と「技」が揃っていても
「体」が欠ければ、結果はゼロ。

逆に…

「心」と「体」が揃っていても
「技」が未熟なら、成果はゼロ。

コピーライティングは「足し算」ではなく「掛け算」です。

心 × 技 × 体 = 人を動かす力

掛け算だからこそ、どれかがゼロなら答えもゼロ。

だから、全てをバランスよく育てることが必要なのです。

本気で取り組む人と、そうでない人の分岐点

心・技・体のどこかが欠けていると気づいた人は
そこで二つの選択を迫られます。

◆ 気づいても、何もしない人

→　言い訳をし、見て見ぬふりをしながら、いつまでも現状に留まり続ける。

◆ 気づいて、改善に取り組む人

→　勇気を出して、自分の弱点に向き合い、成長の道を選ぶ。

この違いが、未来の大きな差となります。

「文章で人生を変える人」
「文章を書き続けても成果が出ない人」

この分かれ道は、まさにここにあるのです。

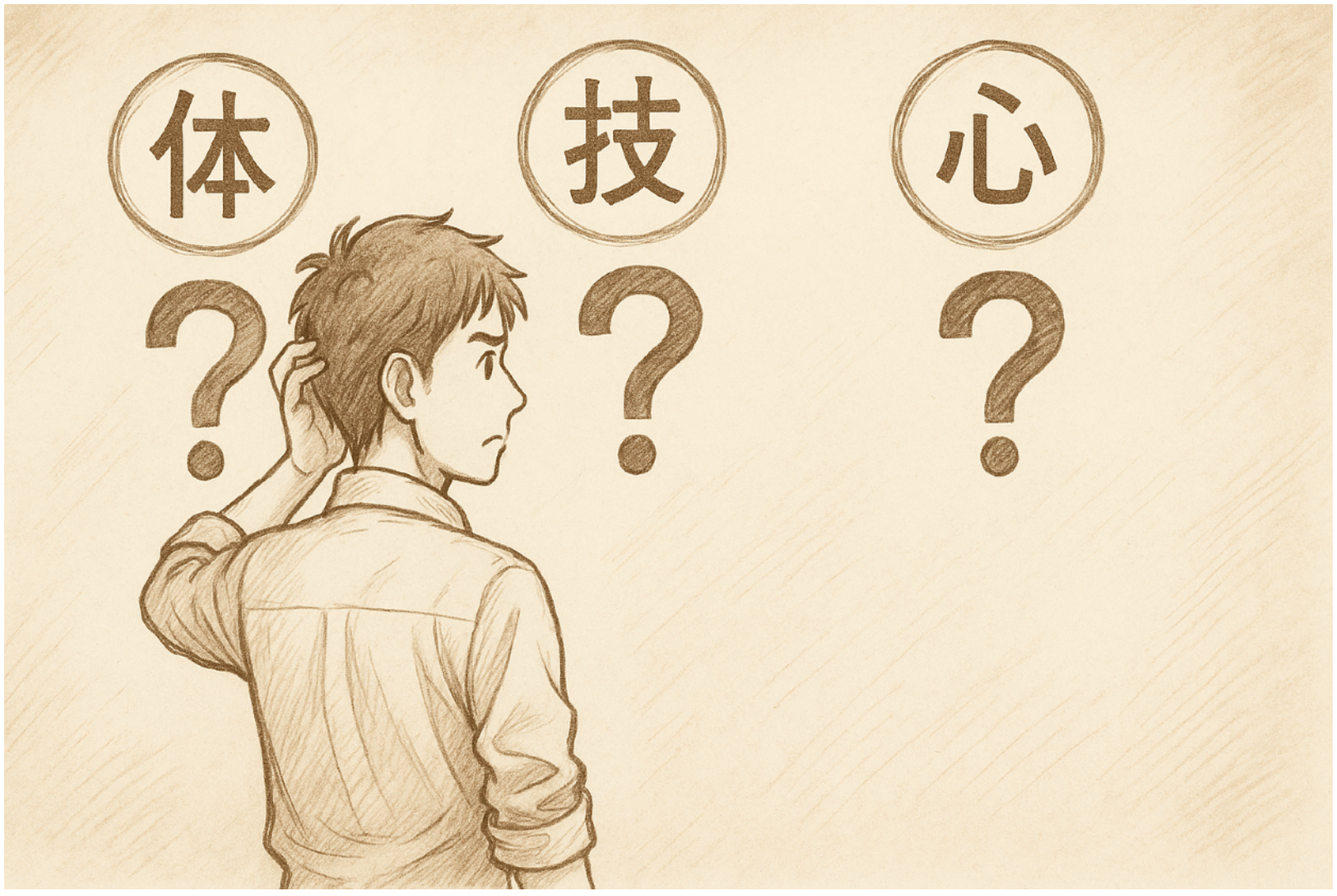
あなたの文章は今、どこで止まっているのか？

「心」か、「技」か、「体」か…

それに気づけた瞬間こそ、成長のチャンスです。

弱点を認め、そこを鍛える覚悟を持ったとき
あなたの言葉は一気に変わり始めます。

そして、その一歩を踏み出す人だけが
「人を動かす文章」の世界へ進むことができるのです。



どこか１つでも満たしていなければ、言葉は届かない

三位一体を揃える取り組みが、あなたの未来を切り拓く

第７章

コピーライティングの「心・技・体」をトータルで身につける

多くのコピーライティング講座は「技」だけに偏っている

これまでお伝えしてきたように
コピーライティングには「心」「技」「体」
の三位一体が欠かせません。

しかし、この３つを同時に、体系的に
かつ実践的に学べる場はほとんど存在しません。

多くの講座は「技」だけに偏っています。

一方で「心」を教える自己啓発的なものや
「体」にあたるビジネス戦略を扱うセミナーはあっても
それらはバラバラで統合されていない。

だからこそ僕は、心・技・体をトータルに学べる
唯一の場所として「五つ星文章術マスターズアカデミー」
というものを立ち上げました。

心の講義：人を動かす哲学

ここでまず学ぶのは、人を動かすための「哲学」です。

どんなにテクニックを学んでも
そこに「哲学」がなければ言葉は響きません。

・デール・カーネギー・エヴァンジェリストとしての知見
・宮本真愿自身の転落と再生の体験談
・「人を動かす」ための哲学や生き方

単なるスキルではなく「あなたの人生から言葉を紡ぐ」
あなたの思想、価値観、理念、信念、ポリシー、世界観など…

あなた自身の「人としての在り方」を徹底的に掘り下げます。

この講義を学ぶことで、あなたの文章には血が通い
魂を宿すようになります。

技の講義：五つ星文章術 × ３種のライティング × AI活用術

次に学ぶのは「技」です。

五つ星文章術の３本柱を中心に
体系的にスキルを習得します。

◆ コンテンツライティング（価値提供型）

読者に役立つ情報を届け、信頼と共感を育む。

◆ セールスライティング（販売型）

読者を自然に「行動」へと導く。
売り込みではなく「救済」としての文章術。

◆ ローンチライティング（プロモーション型）

人を巻き込み、期待感と熱狂をつくり出す。
文章で「流れ」を生み出す。

さらに、これらを、AI時代に最適化する方法も学びます。

ChatGPTなどを…

「文章を代わりに書かせる道具」としてではなく
「発想を広げ、表現を磨き、スピードを加速させる武器」

として使いこなすスキルです。

体の講義：テーマ × コンセプト × ポジショニング

そして最後に学ぶのが「体」です。

文章を成立させる土台であり
発信の方向性を決める最重要ポイントです。

・テーマ：あなたは何を語る人なのか？
・コンセプト：なぜあなたから学ぶ必要があるのか？
・ポジショニング：どの立ち位置で、誰に届けるのか？

ここが明確になれば、あなたの言葉は迷いなく
必要な相手に一直線に届きます。

あなたの未来を変える学び

「心」だけでは自己満足に終わる
「技」だけでは冷たいテクニックになる
「体」だけでは誰にも届かない

三位一体を同時に学ぶことで
初めて「人を動かす文章」が書けるようになる。

それが五つ星文章術マスターズアカデミーです。

ここは単なるコピーライティング講座ではありません。

「凡人の言葉」を「人を動かす力」に変えるための
コピーライティング大学院です。

心・技・体を同時に学び、鍛え、磨く。

それを実現できる唯一の場所が
「五つ星文章術マスターズアカデミー」です。

ここで学んだ先には…

・人の心を震わせる言葉を紡げる自分
・読者から「あなたの文章に救われた」と言われる喜び
・ビジネスの成果と、人との絆の両方を手にする未来

が待っています。



心・技・体を、同時に極める唯一の場

ここで学ぶ講義は、あなたの人生と、誰かの人生を変える

第８章

未来を選ぶのは
あなた自身

あなたはもう気づいているはず…

ここまで読んできたあなたは、もう気づいているはずです。

コピーライティングにおいて「心」「技」「体」
の三位一体が欠かせないことを…

しかし…

知識として理解することと
それを行動に移すことの間には
天と地ほどの差があります。

未来を変えるのは
知識ではなく「選択と行動」です。

今この瞬間の選択が、未来を決める

AIが進化し続ける時代。

情報は誰でも手に入るし
テクニックも検索すれば出てきます。

けれども、その情報を「自分の血肉」に変えられる人は
ほんの一握りしかいません。

なぜなら、多くの人は…

「知って終わり」
「わかった気になって終わり」

で止まってしまうからです。

本当に未来を変える人は
次の一歩を選びます。

「今のまま現状維持でいくのか」
「心・技・体を鍛えて、人を動かす文章を書ける自分になるのか」

どちらを選ぶかで、数ヶ月後、数年後の
あなたの人生は大きく変わります。

AI時代に問われるのは「人間そのもの」

これからの時代、AIはさらに高度な文章を生み出すでしょう。

もしかしたら「完璧に整ったセールスコピー」
すら瞬時に生成できるかもしれません。

けれども、そこで問われるのは…

「あなたはどんな心を持ち、どんな立場で、どんな技を磨く人間なのか？」

ということです。

・AIが代わりにあなたの「心」を語ることはできません。
・AIが代わりにあなたの「体＝生きる土台」を築くことはできません。

だからこそ、AI時代を生き抜く力は
心・技・体を兼ね備えた人間力 にこそあるのです。

その他大勢になるか「選ばれる人」になるか

多くの人は、行動せずに「その他大勢」に埋もれていきます。

・SNSで発信しても読まれない
・AIで文章を作っても心に響かない
・時間ばかりが過ぎて、気づけば「挑戦しなかった過去」だけが残る

一方で、心・技・体を磨き、行動した人は
「選ばれる存在」になっていきます。

・読者から「あなたの言葉に救われた」と言われる
・クライアントから「ぜひお願いしたい」と声をかけられる
・ビジネスの成果だけでなく、人との信頼関係も築ける

未来は、選ばれた人に微笑みます。

行動しない人が必ず後悔する理由

人生の中で最も後悔する瞬間は「やらなかったこと」です。
挑戦して失敗したことよりも「あのときやっていれば」
と悔やむことの方が、心に深く突き刺さります。

文章で人を動かしたい、人生を変えたいと本気で願うなら
今この瞬間が行動のチャンスです。

未来を変えられるのは「今」の選択だけだからです。

宮本真愿からのメッセージ

僕は、ホームレスから再起しました。

絶望の底にいても、言葉の力を信じ
行動を選んだからこそ、今こうしてあなたに語れています。

だから断言できます。

あなたも絶対に変われる。

心・技・体を揃え、言葉に魂を込めれば
誰だって人を動かす文章が書けるようになる。

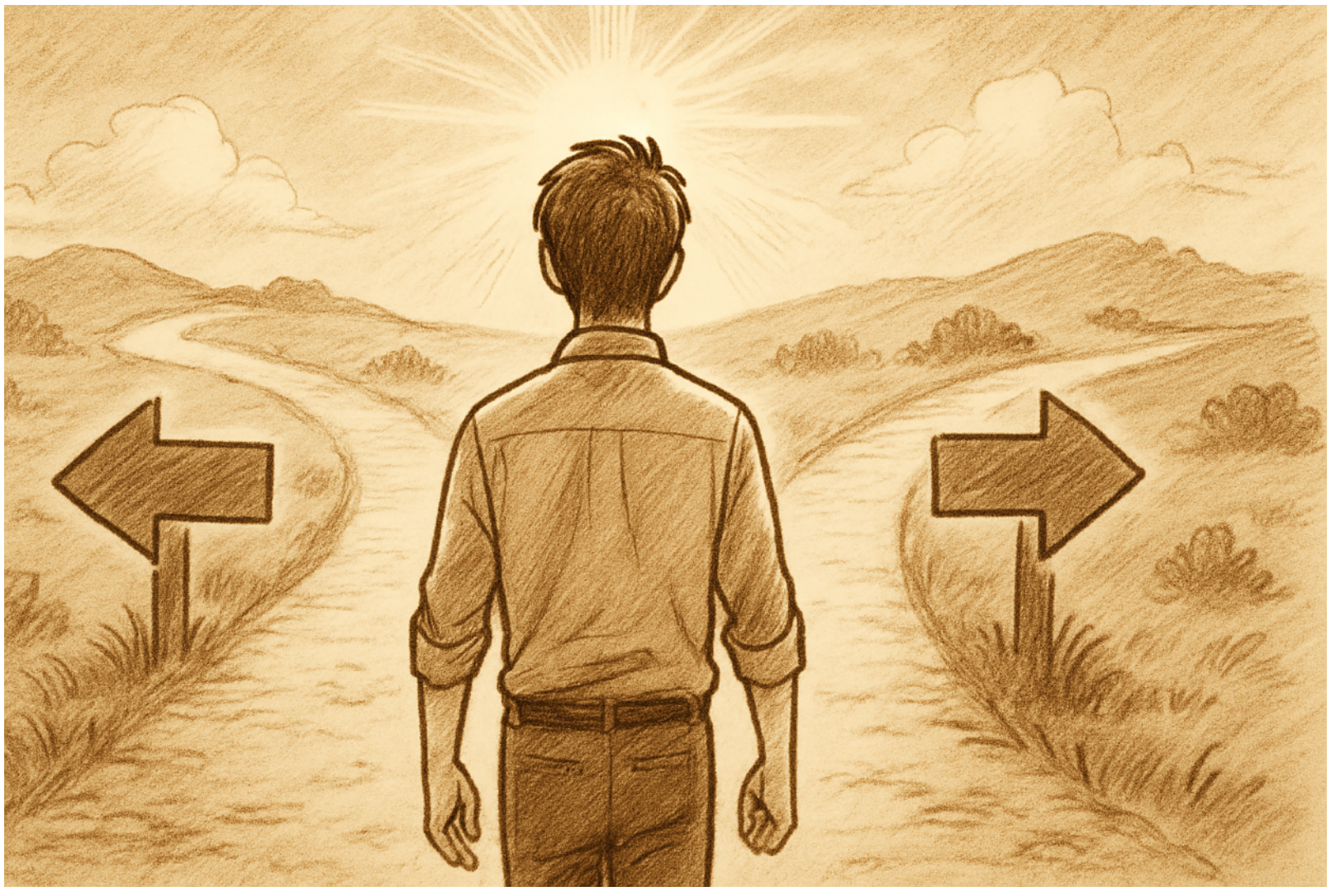
凡人であっても、大逆転は可能なのです。

「心・技・体」を磨かずに、現状維持で終わるのか。

それとも今ここで覚悟を決め、行動し、人生を変えるのか。

その選択をできるのは、他の誰でもない…

あなた自身です。



未来を決めるのは、知識ではなく、選択だ

行動する者だけが、人生を変えられる

最後に

ここまで読んでくださったあなたは
すでに「心・技・体」という
三位一体の重要性を理解しているはずです。

心：あなたの哲学、生き様、信念。
技：人を動かすためのコピーライティングのスキル。
体：テーマ・コンセプト・ポジショニングという揺るぎない土台。

この３つが揃ったとき、言葉は単なる文章ではなく
「人の人生を変える力」となります。

行動を起こすのは、今この瞬間

僕が伝えたいのは、とてもシンプルなことです。

「心・技・体を揃えたあなたの言葉は、必ず人を動かす」

ということ。

ただし、その力は学んだだけでは生まれません。

行動してこそ、挑戦してこそ、本当の力になるのです。

思い出してください。

あなたが文章を書こうと思ったのは
誰かを救いたいからではありませんか？

自分の経験や想いを、未来を変えるために
届けたいと願ったからではありませんか？

その願いは、あなたが思っている以上に価値があり
誰かの人生を救う光になるのです。

凡人でも、大逆転は可能

僕自身、かつてはすべてを失いました。

会社の倒産、信頼の喪失、そしてホームレス生活。

それでも「言葉」を諦めませんでした。

言葉には、人を動かし
人生を変える力があると信じていたからです。

結果、今こうして再び立ち上がり
あなたに語りかけています。

凡人であっても、大逆転は可能です。

いや、むしろ凡人だからこそ
心・技・体を揃えたときの変化は劇的なのです。

あなたの挑戦を待っています！

未来を変えるのは、あなたの選択と行動です。

「いつかやる」と先延ばしにする人は
いつまで経っても変わりません。

ですが、今ここで覚悟を決めて行動する人だけが
人生を劇的に変えていくのです。

僕は、その挑戦を心から応援します。

あなたの言葉が、人の心を震わせる瞬間を
一緒に見たい…

そう願っています。

影武者コピーライター 宮本真愿



追伸

本書の中で掲載しきれなかった
コピーライティングの「心・技・体」に関する更なる詳細情報
及び「五つ星文章術マスターズアカデミー」のご案内に関しては
今後、順次メルマガのほうでお送りします。

宮本からのメルマガを見逃さないよう
チェックのほう、よろしくお願い致します。



挑戦の扉は、今この瞬間にしか開かない

あなたの言葉が、あなたと多くの人の未来を変える

追々伸

宮本は、日本のトップマーケター神田昌典氏の会社、アルマ・クリエイションより、マーティング・コピーライターの認定を受けています。

この認定は、マーケティングとコピーライティングのプロフェッショナルを養成する一連のプログラムを受講し、プロの講師による厳しい審査に合格した者のみに与えられる希少な認定資格です。

宮本は神田式のマーケティング＆コピーライティングのスキルをベースに、五つの学問（脳科学・広告心理学・行動経済学・神話学・個性学）を融合した独自のコピーライティングメソッドを確立しました。

＜マーケティング・コピーライターとは＞
広告・LP・SNS・ブログ・メルマガ・セールスレターなどを使って、見込客獲得・顧客獲得（商品販売）につなげるシナリオ・文章を設計する「ダイレクト・レスポンス型」のマーケティング（DRM）に特化したコピーライターのことです。



追々々伸

さらに宮本は、生成AIプロンプトエンジニアでもあります。

AIを活用したコピーライティングのメソッドなども日々研究しており、そこから得られた最新の研究結果や知見、効果的な活用方法などもシェアしています。

＜生成AIプロンプトエンジニアとは＞
生成AIがより高品質なコンテンツや回答を生成できるよう、プロンプト（指示文）を設計・最適化するエンジニア（技術者）のことです。

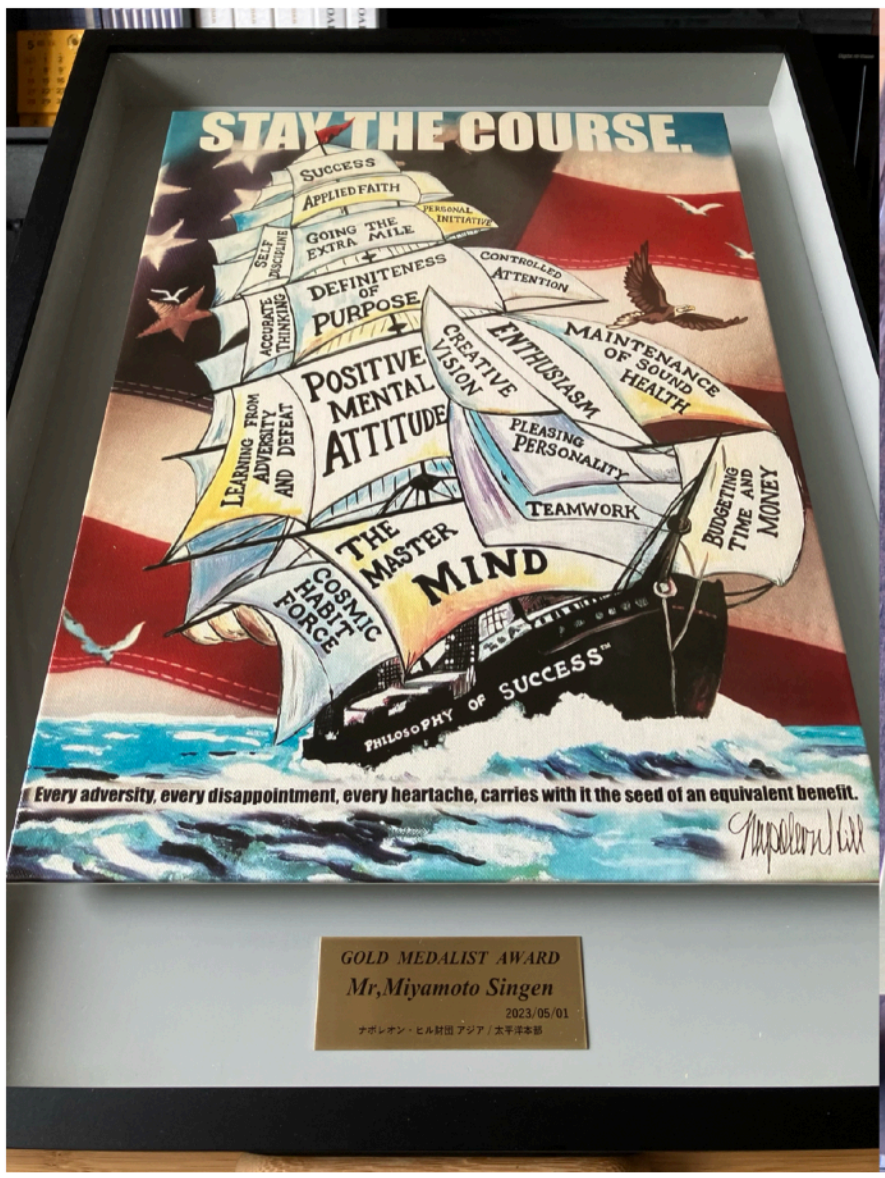


追々々々伸

僕はこれまで、社員を一人も雇わない１人起業のスタイルで、クライアント企業（２３社累計）に対して年間２０億円超の売上に寄与してきました。

そして、その実績と功績を讃えられ、ナポレオン・ヒル財団より「ナポレオン・ヒル・ジャパン・ゴールドメダル」を授与していただきました（日本人初の第一号受賞者）

そんな宮本が提供する、ビジネスにおける「最大最強の武器」が「五つ星文章術」です。





＜著者＞

影武者コピーライター 宮本真愿（みやもと しんげん）



１００％完全守秘義務契約で、クライアント２３社のビジネスを裏方からサポート。コピーライター業界の「特命係長 只野仁」のような影武者的存在として、日々クライアントの極秘業務を秘密裏に遂行。

「あの有名企業の、あの商品の広告とセールスレター、実は俺が書いたんだけどな…」そんな自己満足の優越感に浸ることも、しばしば…

＜略歴＞

メンターの死→会社倒産→離婚→ホームレスの四重苦に陥った、どん底・泥沼・最悪の状態から「ナポレオン・ヒル」の成功哲学と「矢沢永吉」のロック魂に救われ、ホームレス転落後から２年で社会復帰と経営者への再起を果たす。

その後、経営者に復帰してからの業績と社会的成功が認められ、ナポレオン・ヒル財団より、日本では２人しか保有していない、ナポレオン・ヒル・日本版ゴールドメダルを受賞（メダル創設初の第一号メダリスト）

また、全世界で９００万人以上の修了生を輩出している、デール・カーネギー・コースで、最優秀達成賞（MVP）を受賞

本業は、社員３０人以下の会社を経営している社長、一人起業家、個人事業主、フリーランス、独立予定者向けに「１００％完全成果報酬」で、DRM（ダイレクト・レスポンス・マーケティング）をベースとした「集客・教育・販売」の仕組み創りと、コンテンツ制作をサポートする、経営戦略コンサルタント（兼）マーケティング・コピーライター

また本業のかたわら、ライフワークの一環として、自身がこれまでに学び実践してきた、古今東西のありとあらゆる成功法則、自己啓発、能力開発、心理学、個性学、脳科学、東洋医学、量子力学、宗教、スピリチュアルをバックボーンにした「凡人の凡人による凡人のための成功哲学」を発信している。

公式サイト：https://singen.jp

＜受賞歴・保有資格等＞

- ナポレオン・ヒル財団認定／成功哲学マスタートレーナー
- デール・カーネギー・コース最優秀達成賞受賞・修了生コーチ
- 本田健オンラインアカデミー講師
- 生成AIプロンプト研究所認定エンジニア
- フォレスト出版認定エージェント／kindle電子書籍出版プロデューサー
- ランチェスター経営公認／戦略☆社長塾・塾長
- 米国NLP協会＆コーチング研究所認定／NLPプロフェッショナルコーチ
- 日本NLP協会認定／NLP販売心理セールスコンサルタント・トレーナー
- アルマ・クリエイション認定／マーケティング・コピーライター
- 日本クラウドソーシング検定協会認定／WEBライティング実務士
- 日本能力開発推進協会認定／話し方・伝え方スペシャリスト
- 日本コミュニケーション能力認定協会／上級認定（1級）取得
- アルマ・クリエイション認定／フォトリーディング・マスター
- Tony Buzan公認／マインドマップ・マスター
- 国際レイキ普及協会認定／レイキマスター
- ヴォルテックス認定／宝地図マスター・エネルギーマスターセラピスト
- 四柱推命鑑定士
- 個性心理學研究所認定／個性心理學アドバイザー
- 才能研究所認定／パーソナルスター発見プログラム・マスターコーチ
- 日本能力開発推進協会認定／マネーライフプランナー
- ナポレオン・ヒル・日本版ゴールドメダル受賞（創設第一号メダリスト）
- デール・カーネギー・コース最優秀達成賞（MVP）受賞
- 中村天風財団会員

コピーライティングの「心・技・体」

著　者：宮本真愿
所在地：https://singen.jp/info
問合せ：https://singen.jp/contact

Copyright © Singen Miyamoto All Rights Reserved.